

～相談者の苦悩を理解する大切な視点～

『愛と家族の ロゴセラピー』

◆講師：千葉 征慶 氏 (NPO法人関西心理相談員会 代表理事)

◆日時：2016年9月11日(日) 14時～17時15分

◆場所：チサンマンション第7新大阪 1階貸会議室

大阪市淀川区西中島6-2-3 (当会事務所があるビルの1階です)

(地下鉄御堂筋線『西中島南方駅』、阪急京都線『南方駅』徒歩5分、JR『新大阪駅』徒歩10分)

※2単位申請中

個人の悩みの多くは、個人と環境との相互作用の中で生まれてくるものとも言えます。相談場面では、クライアント理解に向けて、相談者個人の特性などとともに、相談者を取り巻く様々な環境を理解することも大切です。今回は、当会代表理事でロゴセラピストの千葉征慶氏に相談場面における大切な視点についてうかがいます。相談スキルのレベルアップを目ざしたい方、是非この機会にご参加ください。

～講師からのメッセージ～

夫婦や兄弟愛の問題、つまり愛と家族のことで、心を痛めている人は少なくないと思います。むしろ、人間の本当の苦悩は、そこにあるのではないかと、私は思ったりもします。

もしも相談室で、「個人的なことです、家族のことをここで相談してもいいですか」と尋ねられた時、皆さんはどうなさいますか。

家族のことで苦しんでいる人の相談をロゴセラピーはどう扱うのか、学んでゆきたいと思います。

千葉征慶 (ちばまさのり) 講師プロフィール

1957年1月6日生。上智大学大学院卒。(教育学修士)

富士通株カウンセラーを経て、現在、NPO 法人関西心理相談員会(代表理事)、(株)フィスメック(シニアコンサルタント)、大阪府臨床心理士会副会長、神戸松蔭女子学院大学非常勤講師。

臨床心理士、産業カウンセラー。ロゴセラピスト。

日本版「PILテスト」の開発者の一人。共著に、「生きがい」河出書房新社、「PIL テストハンドブック」システムパブリカ、「フランクルを学ぶ人のために」世界思想社、「暴力の発生とその連鎖」人文書院など。